

科目名	創造システム工学セミナー— 一般	英文表記	Creative System Engineering Seminar for general education	2017/3/10			
科目コード	6024	教員名:キャリア教育支援センター長、専攻科長 技術職員名:				作成	
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全コース		専1・2	選	学修	2単位	講義	集中講義
科目目標 【MCC目標】	①広い視野・多角的視点から技術に必要な要素を学習し、技術者にとって何が必要かを理解する。 ②各講義における目的を理解する。						
総合評価	各講義におけるレポートで評価する(100%) 学年末評価は全講義レポートで行い、60%以上を合格とする。						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の 評価方法	ルーブリック			
				理想的な 到達レベル(優)	標準的な 到達レベル(良)	最低限必要な 到達レベル(可)	セルフ チェック
	50%	① 広い視野・多角的 視点から技術に必 要な要素を学習 し、技術者にとつ て何が必要かを理解 する。	正しく説明できるか レポートで評価す る(100%)	講義内容を理解 し、その分野にお ける問題点を適切 にわかりやすく説 明できる	講義内容を理解 し、その分野にお ける問題点を説明 できる	講義内容を適切に 説明できる	
50%	② 各講義における目 的を理解する。	正しく説明できるか レポートで評価す る(100%)	講義の目的と自ら の専門分野を関連 付けて示すことが できる	講義の目的と自ら の専門分野を関連 性がわかる	講義の目的を示す ことができる		
本科・専攻科 教育目標	1	2	3	4	◎(3) 専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する ○(1) 技術者に必要な基礎知識を備え、実践力のある人材を育成する		
	○		◎				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習・実技・ 実務)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	100	0	100	
基礎的理解	①②			50		50	
応用力(実践・専門・融合)	①②			50		50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、 方針、履修 上の注意	【授業概要】学内で開催される技術者講演会や高専機構・3機関連携で配信される技術者講演会を講義の 対象とする。したがって、内容は毎年変更される。 【履修上の注意】1コマ15回以上の聴講およびレポート提出で採点対象となる。履修希望者は、事前に担 当教員に履修申請を行い、教務係で集中講義履修の手続きを行う。 【レポート内容必須事項】講演会日時、タイトル、講演者、講演内容の目的、講演内容、講義から得られた 知見						
教科書・ 教材	配布資料、PPT						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	企業技術者講演会1	2	学内メールなどで案内する学内およびネット配信の特別講義、 講義の案内は常時 15回の聴講・レポート提出により評価する。	レポート	
2	企業技術者講演会2	2		レポート	
3	企業技術者講演会3	2		レポート	
4	企業技術者講演会4	2		レポート	
5	企業技術者講演会5	2		レポート	
6	企業技術者講演会6	2		レポート	
7	など	2		レポート	
8		2		レポート	
9		2		レポート	
10		2		レポート	
11		2		レポート	
12		2		レポート	
13		2		レポート	
14		2		レポート	
15		2		レポート	
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で過変更可)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各5時間×15回	
②					
③					
				計75間	
<p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この科目の主たる関連科目は情報通信システム工学科科目関連図一覧表を参照のこと。</li> </ul> <p>(モデルコアカリキュラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。</li> </ul> <p>(航空技術者プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。</li> </ul> <p>(学位審査基準の要件による分類・適用)</p> <p>科目区分 関連科目 工学及び周辺技術等に関する科目</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)